



第2回執行委員会①

10月18日(水)12時より、地本会議室において、第2回執行委員会が開催されました。第1回は結成大会終了後の簡略化されたものであったので、本格的にまとまった議論はこの日が初めてとなります。

所定行路内のその他時間は本当に必要なのか？！

今年のダイヤ改「正」から本格的に始まった乗務員の所定行路に付けられたその他時間(乗務以外の仕事)について、事前に各職場での調査を指示し本会議内で議論しました。

報告された各職場での実態は次の通り。

- ①習志野・・・乗務前の1時間、
- ②銚子・・・乗出し前の30分
- ③佐倉・・・乗出し前1時間で
- ④銚子電鉄での改札等
- ⑤鴨川・・・特急で東京1往復後、



- ⑥ホーム巡回、改札前の貸し出し用ベビーカーの清掃
- ⑦蘇我・・・動画視聴、委員会活動、駅業務(ホーム巡回、窓口案内、モニターでの運転監視)
- ⑧鴨川・・・特急で東京1往復後、駅での案内放送等 (つづく)

送別会についての再確認

送別会に関しては、当初の取り決め通り、各班内での退職者の報告、及び送別会を計画し、その旨を分会ラインに報告し、分会全体の行事として扱います。が、実施責任者は各班長です。

ここまでは、基本的な考え方で意思統一がされてきています。肝心なのは、分会へ細かく報告してほしいということです。例えば各班内での退職者本人が送別会を辞退し、班でもそれを承認した場合も、その旨分会ラインに連絡して下さい。

また、当初の議論の盛り上がりとは裏腹に、案の定「各班でやれば良いのでは」「遠くには行きたくない」といった現実的な本音も本会議内でありました。その辺は誰もが感じていることだと認め合わなければなりません。強がりやきれい事はもう必要なく、ストレートにいきましょう。

今後は、各班の実施の計画(やらない場合も)を参加者を募らずに、連絡のみラインに送って下さい。ラインを確認した各班長は班内でそれを共有化させ、参加したい人がいた時のみ、早めに分会ラインに連絡するという形にします。ご協力よろしくお願いします。

(分会長)

うたてつノススメ⑦

赤ちょうちん (かぐや姫)

1974年1月

あの頃二人のアパートは裸電球まぶしくて貨物列車が通ると揺れた二人に似合いの部屋でした覚えてますか 寒い夜赤ちょうちんに誘われておでんをたくさん買いました月に一度のぜいたくだけとお酒もちょっぴり飲んだわね

雨がずっと仕事もせずにキャベツばかりをかじってたそんな暮らしがおかしくてあなたの横顔見つめてあなたと別れた寒い夜公衆電話の箱の中ひざを抱えて泣きました生きてることはただそれだけで悲しいことだと知りました

今でも時々雨の夜赤ちょうちんも濡れている屋台にあなたがいるよな気がします背中丸めてサンダルはいて一人にいるよな気がします

「何でこれが鉄道ソング？」と思われるかもしれない。鉄道ワードは「貨物列車」だけ。が、歌詞中の「貨物列車が通ると揺れる安アパートで、彼女と同棲して、キャベツかじって、おでんを食べて」といった経験を自分もするのかなあ・・・と、これを聴いた中2の時にあこがれたのを未だに思い出す。それだけ強烈な印象で、この曲の中のどの場面にも「貨物列車」は存在している。分からない人は聞き込みが足りない。

作詞は喜多衆忠。貧しいけれど幸せだった時代を振り返る主人公のいじらしくもはかない、健気な

様子が伝わる。誰でも書けそうで、絶対誰にも書けない名作である。裸電球、懐かしいなあ。